

日本設備工業新聞

発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774代
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 年額8,800円(税込送料込)

TOTO
 システムバスルーム シンラ
SYNLA
 TOTOホームページ
<https://jp.toto.com>

経営状況を見える化

人口減少に持続可能な下水道へ

国土交通省は六月二十九日、東京・千代田区の日本下水道協会会議室で第四回「人口減少下における維持管理時代の下水道経営のあり方検討会」(座長・滝沢智東京大学大学院工学系研究科教授)を開き、持続可能な事業経営の実現に向けて報告書案をまとめた。下水道使用料の実態調査に基づき、収支構造の課題を整理し、今後の方向性を明らかにした。経営状況の「見える化」などによる住民理解を促進し、下水道事業の適正・円滑な収支改善をめざす。

収支改善へ住民理解を促進

下水道は国民の暮らしの安心・安全の確保と豊かな水環境の保全に不可欠な基盤施設となっている。しかし人口減少などに伴う地方財政の逼迫や執行体制の脆弱化、老朽化、官民連携、資源・施設の有効利用、新技術の導入などに努めてきた。昨年八月には有識者などで構成する同検討会を設置。人口減少下でも下水道サービスを維持する



滝沢座長

ため、望ましい下水道使用料体系などを整理するとともに、地方公共団体による下水道事業の収支構造の適正化や円滑な収支改善に向けて議論を重ねている。報告書案は①下水道を取り巻く現状②下水道の収支構造に関する課題③今後めざすべき下水道事業経営の方向性と国などによる支援のあり方

アカギの配管支持金具
 株式会社 アカギ
 03-3552-7331(大代表)
 本社東京・支店全国主要都市



国交省検討会が報告書案で活発に意見交換

る実態調査結果などを盛り込んでいる。下水道事業を取り巻く現状では下水道整備の状況、下水道事業の財政状況、下水道使用料の概略、下水道の収支構造に関する課題では課題の整理方法、使用料算定の手順に即した課題の整理、各課題の具体的内容などを説明。今後の方向性と支援のあり方では経営状況の「見える化」などによる住民理解の促進、下水道管理者による経営努力の徹底、中長期的観点からの適切な収支構造への見直しなどを打ち出した。経営状況の「見える化」では地域住民に馴染みの薄い下水道の役割や河川の水質保全効果などを積極的に普及啓発するとともに、公営企業会計の適用や経営戦略の策定・改定などのわかりやすい形で収支構造の妥当性を明示していく。また地域住民などへの説明責任を適切に果たす観点から幅広いメンバーによる経営審議会やタウンミーティングなどを有効に活用する方針だ。

予防保全型サイクル確立へ 国交省 小委 インフラメンテナンス戦略



家田委員長

国土交通省は六月二十六日、第二十五回「社会資本メンテナンス戦略小委員会」(委員長・家田仁政策研究大学院大学教授)をWEB開催した。新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、上下水道などのインフラメンテナンスで取り組むべき項目と当面の進め

方、今後のロードマップを打ち出した。新たに予防保全型のメンテナンスサイクルを確立する。社会資本の多くは高度経済成長期以降に整備された。ただ上下水道、運輸システム、電力供給の取り組みでは①メンテナンスサイクルの確立②施設の集約・再編③多様な契約方法の導入④技術の継承・育成⑤新技術の活用⑥データの活用⑦国民の理解と協力⑧の七項目が柱となる。現場作業については感染拡大による出勤制限などの条件下でも平時と変わりなく適切に実施できるように少人数での効率的な対応を可能とする施設関連情報系を強化していく。

2020小泉サマーセール

期間 4月21日 ▶ 9月20日

美川憲一 & コロケ スペシャルジョイントコンサート



~伝説のあのシーンがいずみ会に登場!
 歌って笑って
 究極のエンターテインメントショー~

いずみ会合同研修会

10月26日(月)~10月31日(土)

今年の合同研修会は新潟県越後湯沢です。

●合同研修会会場
 NASPAニューオータニ



- チャリティー抽選会
- 工場見学
- 税務・会計相談会

講演会『ゴルフ これからの未来』



講師 丸山茂樹氏



講師 服部道子氏

人・街・未来へ



〒167-8555 東京都杉並区荻窪 4-32-5 TEL.03-3393-2511 (代)

株小泉 / 株小泉東北 / 株小泉中央 / 株小泉多摩 / 株小泉東関東 / 株小泉北関東 / 株小泉中部 / 株小泉神奈川 / 株小泉相模 / 株小泉東海 / 総合電材株 / 樹住建

毎年好評の 海外優待旅行

Aコース
 世界遺産を巡る旅
 悠久の「モロッコ」・「ポルトガル」
 歴史紀行10日間

10日間

Bコース
 のんびり滞在
 ハワイ「ホノルル」6日間

6日間

Cコース
 歴史と文化と美食を満喫
 「台北」3日間

3日間

